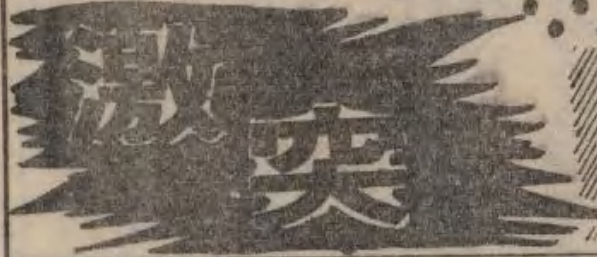


SNOW POWER



青春の燃焼

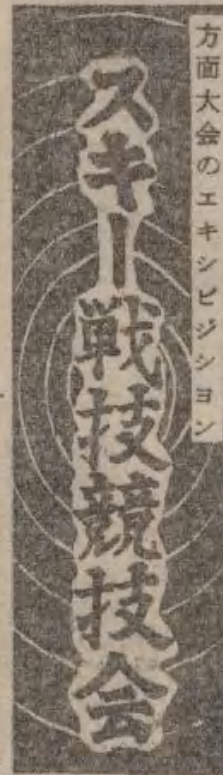
いわみざわ

発行 岩見 沢 社
編集 岩見 沢 社
業務 岩見 沢 社
班報 岩見 沢 社

今月の行事

8日	方面スキー大会
11日	建国記念日
13日	駐とん地冬季運動会
21日	駐とん地スキー検定
25日	除隊式

××× 壮烈な激戦が予想された第三施設団冬季戦技...
 ××× 競技会は、予想を違えず三ツ巴の乱戦となり...
 ××× シーンゲームを演じながらA・B・Cグループ...
 ××× に分かれて初の栄冠を争い合つた。その結果...
 ××× Aグループ・三三四中、Bグループ・浮橋中、C...
 ××× グループ・三〇一地施隊、総合・一施群がそれ...
 ××× それ優勝して大会の幕を閉じた。



方面大会のエキシビジョン

松の内の気分も抜け切らない一月十三日、新編成となつて初の第三施設団冬季戦技競技会が、南恵庭において実施された。
 群は、総力をあげて雪虫の訪れより早く練習に入り、正月をも返上して連日トレーニングを重ねて臨んだ今大会であつたが、僅少の差とはいへ優勝を逸したことは、痛恨事ではあつた。
 彼我同列の三者が三ツ巴の戦いを演じただけに、次回の決定的な勝者の予想もつき難く、入手した貴重なデータの活用とその対策の良否が来年覇者決定の要素であることは衆目の明らかなところである。

各群とも伯仲の心、技、体であつて見れば、何ぞ恐るゝに足らぬやである。しかし、雪不足に悩む各種の雪のない練習法によらざるを得なかつた部隊が、僅少の差であつたとはいへ、勝機を自分のものとせし得たことは、多雪とバラエティーに富んだ練習コースに恵まれたわが群に対して、何らか

第三施設団冬季機械化築城研究演習「ゴールデンシールド」(黄金の柵作戦)がはじまつてゐる。
 これは五十年、五十一年に続く一連の研究演習で、アイスクリートにより巨大な氷柱を造り、直撃砲弾にも耐え得る強固な築城を目

指導にあつた。最終日の十四日には親子入り混つてのミカン拾いや雪中ゲームを楽しみ、「終了証書」の交付を行つた。
 こういつたサービスマン市民の人氣を得る要因となつてゐることは事実であるが、「自衛隊でスキー講習を受けたい生徒は、その後のスキー技術の進歩が早い。」(某小学校教諭)も語つており、自衛隊のスキーレベルの高さをも市民に認識させた今年のスキー教室であつた。

の問いを投げかけてはいないだろうか。身を屈めて来年への飛躍を期したとはいへ、涙の惜敗といつた感は強かつた。
 それにしても混とんとした力量伯仲の戦況の中で、常にリードを保ちながら青春の一頁を賭して、力一杯、精一杯力闘した群の全選手に「悔いのない良い試合であつた」と拍手したい。
 笑うために泣き、飛躍のために身を屈め、血と汗と涙の旗を掲げる

詳細は追報「土と汗」



戦績(関係分のみ抜す)	
Aグループ	一位 三三四中
二位 三三五中	三位 三三六中
四位 三三七中	
Bグループ	一位 浮橋中
二位 三二器中	三位 本四ダ中
四位 三〇四ダ中	
Cグループ	一位 三〇一地施
二位 十二施群	三位 十三施群
四位 一施群	
総合	一位 十二施群
二位 十三施群	三位 一施群
四位 十三施群	

一月十日から十四日まで実施された「家族スキー教室」は、年々参加者が増え、今年には百七十名にも達して関係者に嬉しい悲鳴を上げさせてゐる。もともと新渡道隊員家族を対象として実施して来たものであるが、駐とん地の施設開放事業とあひまつて、市民の申込は増加する一方で、今年はいくらも最高の十組を編成して、連日降雪の続く隊内ゲレンデで、業務隊総務科長野々下一尉以下十二名が

ための徒手空拳であつて欲しい。いとしい十二群は、明日のため今日に苦さを知つた。

「今月社...」
 訓練作業事故防止月間...
 ...です。

新隊員へのアンケート

「食事のうまい駐とん地」「女の子と交際したい」など

※第十二施設教育隊は、編成以来三回の教育：X
 X：を行つて来たが、このほど、これら教育前の隊：X
 X：員がどのような意識傾向にあるかを把握し、あ：X
 X：わせて今後の教育及び生活環境改善の資を得る：X
 X：ため、次のようなアンケートを行つた。

アンケートは、昭和五十一年九月隊員二十八名を対象に、駐とん地の第一印象、新しい同僚との仲間意識、生活環境などを七項目の質問により実施した。

- 問一 賞門をくぐつての第一印象について：：
 ① 雪が多くて寒い。
 ② 小さな駐とん地。
 ③ 新しい同僚について：
 ④ 皆んなと仲良く楽しくやりたい。
 ⑤ 相手の人格を尊重してつき合う。
 ⑥ 営内生活について：
 ⑦ 居室がせまい。
 ⑧ 教育訓練に対する期待と不安。
 ⑨ 不安はない。
 ⑩ スキー訓練が不安。
 ⑪ スキーが上手になりたい。
 ⑫ 雪中の施設訓練が不安。
 ⑬ 生活環境について：
 ⑭ 浴場がせまい。すべる。
- 問二 将来の希望
 ① 免許取得(大型、特殊、ボイラー、測量、建築等)。
 ② その他何でも。
 ③ 百円玉でかけられる長距離電話機の設置。
 ④ 時間的余裕がほしい。
 ⑤ 家族の健康が気になり、女の子と交際をしたい。
 ⑥ 自習室がほしい。
 ⑦ その他 etc. etc.
- 問三 以上がアンケートの結果であつたが、教育内容に対する未知の不安があつても、教育そのものには身体でぶつかる気構えを示しており、彼等のヤル気がそのまゝ、教育成果として実るよう、駐とん地全隊員の理解と協力によつて、環境改善やスキンスナップなどの対策が望ましいといえよう。

NEWS

※音楽愛好グループ「メイクアップ」と増川二曹は、三笠市の交通事故死ゼロ五百日達成市民集会を支援。メイクアップの初公演であつた。
 ※新隊員教育隊は十八日、四時間にわたつてレクリエーション

※音楽愛好グループ「メイクアップ」と増川二曹は、三笠市の交通事故死ゼロ五百日達成市民集会を支援。メイクアップの初公演であつた。
 ※新隊員教育隊は十八日、四時間にわたつてレクリエーション



一人前にも実名一名


成人 おめでとう

- ※詳本部長 開藤士長 竹内士長
 北村士長 安保一士
 ※第三三五施設中隊 藤田士長
 松浦士長 山村士長 石田士長
 桜木士長 浅古士長 石田士長 榎木一士
 浅古士長 石田士長 榎木一士
 ※第三三六施設中隊 安藤士長
 田中士長 知覧士長
 ※第三三七施設中隊 北島士長
 中村士長 松永士長
 中村士長 小塩士長
 ※第三〇四ダンブ車両中隊 山越士長
 羽川士長 長谷士長 寺沢一士
 青木士長 大倉士長
 ※第三一二施設器材中隊 中林一士
 河原士長 大官士長
 ※新隊員教育隊 横山二士
 大森二士 浅村二士 沢田二士
 得納二士 岡田二士 沢田二士
 (以上三十三名)

新しい年を迎えて

「自分の過去は振り返らないものだ」と、どこかの偉い人はいつたそりですが、その人は、自分のやつてゐる事を冷静に見つめることができて、そして尚かつ、自分が為すべきことをしている、という自信があるからでしょう。私は未だ自分を冷静に見つめることができないし、自分の目標に向つて何を為すべきか、いや、それ以前の目標さえ決つていない、新しい昭和五十二年という頁

※警務隊だより
 ※岩見沢警務連絡班
 ※飲酒※窃盗※無免許運転※業過致死※



例題
 A一士は、無免許ながら外出中に、酒に酔つた勢いで車を運転したくなり、近くにキーをつけたまふ停めてあつた車を見つつけ、これを無断で運転し、赤信号を無視し交差点に進入、たまたま横断中の人に衝突死亡させた。

問一 A一士の罪はいくつありますか。
 問二 A一士の刑罰はどの程度でしょう。

問一の答
 一、窃盗罪 (刑法二三二条)
 二、業務上過失致死罪 (刑法二二一条)
 三、無免許運転 (刑法三五条)
 四、酒酔運転 (刑法三五条)
 五、信号無視 (刑法三五条)

問二の答
 五つの罪名があるように刑罰も重くなり、加算されます。
 懲役十五年以下罰金三十三万円以下 (刑法四五条 参照)



をめぐる前に、前頁で未熟な自分が人にどれだけ迷惑をかけ、どれだけの人の心配をさせたかを、自己の念をもつて振り返り、そこに見つけた黒いシミを自分のコヤシとして、新しい頁にどんな花でも良いから実を結ぶより努力したいと思つてみます。

そして次の年には、あれをすれば良かった、あれをすれば良かった、あんなことをするのはなかつた、等と思つたことが、少しも前の年よりも少ない年であるし、ますます、新年を迎えるたびに、いつも私はそんな思いを持つてしまふのです。(三三七中隊 二士 若木春二)

編集後記
 スキー惜敗、捲土重来を期す。各選手の間心に苦勞と努力を込めて。その中で、ウチのスターは、時間もなくそのまゝスタートしたが、走りながら後すたしきり、時間がたつた。あんな時、走れば良かった、と、ゴーストに思ひこめて、思いはゴールに飛びこんで、早く帰つて身軽になろう。練習記録を大巾に上廻る新記録、中隊長の喜ぶこと。本人は記録よりも使手へ目線がコロコロと、全選手が、マサカ?